

第25回 横浜学童保育研究集会

★おがえい★

No.2

基調講演

横浜学童保育連絡協議会

会長 森山民雄

昨今の情勢は目まぐるしく変化しており、労働組合としても正確な情報をタイムリーに伝達するのが困難なほどである。教育の現場にも民営化の波が押し寄せており、福祉事業の株式会社化という風潮は否めない。子どもを守るべきはずの教育権利が弱くなってきたと感じる。昨年は「放課後子どもプラン」が発足し、学童保育は委託から補助に切



り替わってしまつた。国は児童の放課後施策を自治体に任せつきり、横浜市が学童保育をやらなければそれまでという危惧を感じている。

こうした厳しい背景の中で横浜学童保育連絡協議会ができることは何か？それは、横浜市に対して、学童の維持・運営が大変ひっ迫した状況にあることを述べ、改善要求をあげていくことが重要である。

いま学童保育は「キッズクラブ」や「はまっこ」に比べて格差が生じている。学童保育が本場に必要ない事業であることを粘り強く訴えていかなければいけない。今後も子ども達の権利を守るため、皆さんの原動力になっていきたいと思ひますので、がんばりましょう！

り替わってしまつた。国は児童の放課後施策を自治体に任せつきり、横浜市が学童保育をやらなければそれまでという危惧を感じている。



奥山 実行委員長

開会行事

朝一番の気合を入れる、
○塚やつくん(梅木指導員)



日本の学童ほいく
読みなさいよ！

本日の参加人数
502

鶴見たけのこくら

はらっぱ太鼓

ぶちあわせ太鼓

清流のほり打ち

九時二五分、たけのこ学童クラブの子どもたちが舞台上上がつてきました。立ち位置確認と梅木指導員扮する「桜塚やつくん」とのからみの確認。小さな音での練習。みんな緊張気味です。

九時四五分、オープニング。「やつくん」の前振りの後、いよいよ始まりました。木村指導員の縮太鼓に合わせ「原っぱ太鼓」、「ぶちあわせ太鼓」、「清流のほり打ち」と元気な演奏が続きます。高学年になると、バチさばきも柔らかく、迫力の演奏です。舞台の袖で、出番が終わった三年生が、一緒に手を動かしている姿が印象的でした。

演奏後、木村指導員は「緊張していましたが、上手にできました。子どもたちは楽しんでいました。」とにっこりとおっしゃっていました。



太鼓ヨカッター

●開会行事の子どもたちの太鼓はとても元気で立派だった。
(わんぱく 保護者)

●たけのこクラブの皆さん、かつこ良かったですよ。心に響く音でした。指導員の先生のご苦労も偲ばれました。
(北山田 指導員)

●太鼓をやっていて楽しい。打っているときどきどん気分がよくなる。
(6年男子)

●たまに速くなるところが難しいけれど、打っている時、手足にぶるぶる感じるのが楽しい。
(3年女子)

●(太鼓をやるのは)結構楽しい。太鼓は、教わるというよりも、自分たちで見て覚える。上級生がやっているのを見て覚えている。
(3年女子)



(3年女子)



印象が強いですが、大人と子どもとの関わりについてどんな話が聞けるか期待しています。(六浦 指導員 小池)

●(江川さんは)テレビで活躍されているのを見て興味を持っていたので、どんなお話が聞けるか楽しみです。(愛児園 指導員)

●第8分科会「障碍児と学童保育」に参加する予定で楽しみにしています。(はずのみ 指導員 高松)

*保護者の方

●(江川さんは)以前から興味がある方だったので、お話を楽しみにしています。(南ひまわり 保護者)

●第7分科会「父母会活動」に参加します。今年度役員をしているので、他クラブの話も聞きたいと思っています。(ほしのこ 保護者 喜多)

●第2分科会「3事業の行方」に参加します。詳しく知りたいと思っています。(十日市場・保護者 二見)



朝一番インタビュー

●6年生の「のぼり打ち」は特に良かった。(観客から)お金をもらえるのでは?
(レインボー保護者)

*スタッフとして

●第8分科会「障碍児と学童保育」の世話人です。今日は、「平塚地区自閉症児・者の会」と子どもたちが来てくれます。クラブにも障碍児がいますが、なかなかマニユアル通りにはいきません。実際



*指導員の方

●江川さんはオウム事件の時の

全体会終了直後にインタビュー

●自分の夢に向かってどうしようかと考えていた時なのでいい夢をもらいました。(指導員)

●すごく良かった。今は中学生になった娘にも聞かせたかった。(保護者)

●おもしろかった。でも夢をさすのは難しいと思いました。(保護者)

●自分はずつで、仕事も今はなく、子どもは不登校なんだけど、江川さんの話を聞いて、まず自分自身をたてなおすところから始めたいと思った。立ち直って子どもにもその姿を見せたい。(保護者)

予想を大きく上回る数のアンケートを回収することができてスタッフ一同喜んでおります。ご協力ありがとうございました(木村)。

編集後記

